

病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善について

当院では病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善のために下記の項目について取組を行っております。

担当部署	本年度計画
看護部	初診時の予診を行う。
	静脈採血を行う。
	入院説明を行う。
	医師の事前の確認指示の下、入院患者の療養生活全般について、看護職員が患者の状態を踏まえて対応する。
	医師の治療方針決定や病状説明の前後に、看護職員が患者と事前面談による情報収集や補足的な説明を行う。要望を傾聴し、医師・患者・家族が意思疎通をとれるよう調整する。
	処方薬の定期的、常態的な投与及び管理について、患者の病態を観察した上で、医師の事前の指示に基づきその範囲内で投与量を調整し、医師の負担軽減を行う。
医事課	夜間配置の看護補助を活用して業務分担し、深夜・休日時間帯でも緊急入院に潤滑な対応ができる体制にする。
	外来診療の予約体制を確立し、医師の負担を軽減できるよう取り組む。
診療支援室	電子カルテの導入および活用により医師の作業負担を軽減する。
	主たる業務として医師の指示のもと入院証明書、診断書などの書類作成や、オーダーリングシステムの代行入力を行う。
検査部	医師の求めに応じて検査を24時間実施できるよう勤務体制を調整する。
	検査に関する問い合わせについて説明を行う。
薬剤部	入院時に持参薬鑑別を行い、医師の服薬計画を補佐し負担軽減を行う。
	保険薬局から医師への疑義照会の対応を薬剤師が行い要点をまとめて医師に確認を行う。
医療機器管理部	重要な医療機器について、経年劣化の程度を担当医師に報告し、更新・メンテナンスを行う管理体制を維持する。
総務課	同一医師が連続当直を行わないよう勤務を調整する。
	時間外労働の管理、均一化の調整